

サッカー、少年野球、地元イベントを支える

「誰にも負けない」地元愛

さがみはら

何気なく我々が楽しむイベントには、必ずバックでそれを支える人たちがいる。例えば夏の風物詩、相模川の納涼花火大会（今年は8月25日（土））。パンフレットを見れば、たくさんの地元企業が名を連ねる。あるいはまた、相模原からJリーグをめざす、社会人サッカーチーム。運営費はほとんど全てスポンサー企業によって賄われている。

相模原をメジャーに

（有）トータルハウジング久野。市内のイベントや



（有）トータルハウジング久野・久野新一社長／昭和38年生まれ、48歳。28歳の時、先代から会社を引き継ぐ。年間70棟の新築を施工

サッカー場で最近、この名前を目にする方も多いはず。同社は中央区水郷田名にある、大正14年創業の老舗工務店。3代目を務める久野新一社長は、地元・相模原へ特別な思いを抱く。

かつて宿場町として栄えた水郷田名に、あの頃の活気は見当たらない。残念ながら周辺商店も規模を縮小し続ける。そんな状況の中、地域への担い手として地元イベントへの協賛を惜しまない。「相模原が良くなること。それがまわりまわって、自分の所によってくるから」。

水郷田名の名物行事、8月の花火大会やGWの鯉のぼりの際には、進んでスポンサーを名乗り出る。「ずっとと相模原を有

名にしたいと思っている。誰もが憧れる全国区の街にしたい」。

諦められない

久野社長は相模原に誕生したサッカーチーム『SC相模原』（望月重良代表）に発足時から携わる。「失敗したつていい。自分が恥をかくだけ」。4年前の創設以来、後援会長の大役を担い、多くの仲間呼びかけ、支援の輪を広げてきた。チームはこれまでJFL入りの目の前までいくが、幾度とその機を逃してきた。それでも決して身を引かない。

「諦めたら終わっちゃいけない。諦めたら『負け』だから」。チームは現在、今年度中のJFL昇格を狙い、関東一部リーグで善戦中だ。

また、同社では一昨年から少年野球「相模原ジュニア・教育リーグ」のスポン

サーも引き受けている。これは普段試合に出る機会が少ない、小学1、4年生を対象にした大会で、毎年この時期に相模川河川敷で行われている。大会の優勝旗やメダル、幟、試合で使うボールは同社が贈呈したものだ。

「住んでよかった」と自慢できる街にしていきたい。スポンサーを買って出て、イベントの盛り上げに一役。結果、市民に喜んでもらえればそれは間違いない。街の活性化につながる。特別な思いは、「誰にも負けない」と言い切る、育ててもらった相模原への大きな地元愛から来ている。



私たちはSC相模原を応援しています。Jリーグをめざしています

SC相模原後援会
中央区中央 3-7-6 KSビル 201
☎042-815-1111

祝 ホームリサーチガイド第1回工務店グランプリ全国4位！ 東日本1位 神奈川県1位！

有限会社



トータルハウジング久野



0120-61-0096

中央区水郷田名
2-11-26
一級建築士事務所

免疫住宅
加盟代理店



SC相模原を
応援しています

県知事(2)第24747号／県知事許可(特-23)第58834号／県知事登録第14787号

